

浄土真宗本願寺派 順光寺 寺報



順光寺だより

第3号

2017 (平成29) 年12月31日発行

光陰矢の如し

順光寺住職 籾 博道

順光寺門信徒の皆様には、益々お念仏相續され、ご活躍のことと存じます。

先般は、順光寺本堂改修工事の件についてご懇志のお願いを致しました。皆様には多大なご負担をおかけ致しますが、何卒よろしくごお願い申し上げます。

寒い時期になりました。毎朝境内を掃除しながら、本堂を見ていると、昔のことを思い出します。私が少年の頃は冬の暖房にエアコンや石油ストーブはありませんでした。本堂用の暖房には布志名焼の大きな火鉢が十数個ありました。法要のあるときは祖母が朝から炭火をおこし、火鉢に入れて本堂に持って行った記憶があります。ご先祖様は毎年冬が来ると、400数年間、同じことをしていたことと思います。

それにしても、その間この本堂は長らく風雪に耐えたものだと感じます。と同時に、松江市内でも指折りの境内の広さ、立派な本堂であると思います。この由緒ある順光寺をご門徒の皆様のご財産として、また、聞法の道場として次世代へ残さなければなりません。どうか皆様ご高察の上、ご理解頂きますよう重ねてお願い申し上げます。

合掌

次世代に向けて

順光寺総代会会長 福井幸隆

寺報「順光寺だより」も今号で第3号となります。編集委員の方々をはじめ、門信徒の皆さまからご尽力をいただき、今回も素晴らしい紙面となりました。厚く御礼申し上げます。

さて、すでに門信徒の皆さまには文書にて案内させていただいておりますが、老朽化が進む本堂を修繕・補強するため、この度、改修工事を行うこととなりました。

来年度、現・副住職が新任職に就任します。新しい世代にバトンタッチし、今後100年の順光寺のあり方を考えていかななくてはなりません。今回の改修工事は、将来にわたって順光寺を護持していくために行う大切な事業です。

寺院は門信徒のものであり、皆さまの協力のもと護持運営していかなくてはなりません。今回の事業について大変ご苦勞をおかけしますが、ご理解・ご協力をいただきますよう何卒宜しくごお願い申し上げます。



門信徒の集い(2017年6月10日開催)にて、本堂屋根の状況について説明

順光寺本堂改修事業について

門信徒の皆さまには、既に文書にてお伝えしております通り、この度、順光寺本堂改修事業を行うこととなりました。

現存の順光寺本堂は、およそ300年前(元禄時代)の石橋大火の後に再建されましたが、長い年月が経ち老朽化が進んでおります。

順光寺は、古来より門信徒の皆様の礼拝の対象であり、松江城下の「浄土真宗の念仏の道場」としての役割を担ってきました。この順光寺を、将来にわたって護持していくためにも、門信徒の皆様のお力添えが必要となります。

事業内容(案)

将来を見据え、順光寺本堂の老朽化に伴う破損箇所の改修

本堂の屋根の改修・本堂の梁の改修・耐震補強(本堂四面に筋交いを設置、基礎を補修)・雨ドイの補修・内陣の梁の補強

門信徒の皆様が参拝しやすい環境づくり

本堂への上り階段の勾配を改善・階段への高欄設置・老朽化に伴う本堂敷居の取替・空調設備の設置・空調効率を上げるためサッシ、障子の改修・本堂北面物入れ入り口等のサッシ工事・照明設備の改善・放送設備の改善・本堂畳の取替

事業経緯

総代会での協議

平成28年、順光寺総代会の協議に基づき、本堂の軽微な修理箇所について業者に見積依頼。併せて本堂老朽化に伴う不具合について総点検を依頼。その結果、本堂の構造体の強度が非常に脆弱であり、地震や、屋根のひずみによって建物傾く可能性があることが判明。今後の対策を早急に検討するため、総代会を数回にわたり開催し、総代の他、壮年会・婦人会有志を加えた「順光寺本堂改修委員会」を組織することを決議。

改修委員会発足

平成29年4月15日、第1回改修委員会を開催。今後の方向性について協議。

平成29年5月8日、第2回改修委員会を開催。今後5年間にわたって改修資金を積み立てることを決議。

平成29年6月10日、門信徒の集いを開催。改修委員会の意向について諮問。ご出席の皆様から将来に向けた積み立ての必要性についてご賛同をいただく。ご依頼金額については、この集いでの意見を基に改修委員会において最終的な結論を出して欲しいとのご意見をいただく。

平成29年7月3日、第3回改修委員会を開催。門信徒の集いでのご意見を基に今後の方向性について協議。ご依頼金額を決定。併せて納入方法について協議。

平成29年7月28日、第4回改修委員会を開催。依頼状の発送について協議。

平成29年8月、門信徒の皆さまに依頼状を発送。ご依頼金額、ご依頼期間を明記。

平成29年9月18日、第5回改修委員会を開催。依頼業者より諸般の事情により、平成31年春の工事着工が必要であるとの連絡があったため、善後策を協議。工事の着工について具体的な計画を立てるため、門信徒の皆さまに、納金カード(納金予定を記入)の返信をお願いすることを決議。

平成29年10月、お詫びとお願いの文書、及び納金カードを発送。

平成29年12月10日、第6回改修委員会を開催。

今後の予定

2018(平成30)年3月 振込用紙を送付
2018(平成30)年4月～ 納金受付開始
2019(平成31)年春 工事着工

各団体の活動

仏教婦人会

松江組仏教婦人会連盟大会

期日：6月25日（日）

会場：本願寺山陰教堂 教化センター研修室

主催寺院：光徳寺



順光寺の連盟旗が入場



開式のことばを述べる春日仏教婦人会会長（松江組仏婦連盟副委員長）

記念講演のテーマは「無碍の一道」。ご講師の的場利香師（江津市・西楽寺ご住職）から、心温まるお話しをいただきました。順光寺からは10名が参加しました。

仏教壮年会



松江組仏教壮年会研修会の講義風景

松江組仏教壮年会研修会

11月8日（水）、本願寺山陰教堂・研修センターで開催。ご講師は安来にある鍛冶工房・弘光の小藤宗相氏。副住職が参加しました。

出雲ブロック仏教壮年会研修会

期日：12月17日（日）午前10時30分～

会場：三刀屋アスパル

来春の順光寺の法要案内

ぜひご参拝ください。

修正会（しゅしょうえ）

日時：2018（平成30）年1月1日（月・祝）
午前7時～

春彼岸・永代経法要

日時：2018（平成30）年3月21日（水・祝）
午前10時～
法話：副住職

2017(平成29)年 順光寺行事報告

写真で振り返る、順光寺の1年。

修正会 しゅしょうえ

年の初めに御仏前にお参りし、心を新たにする法要です。毎年、元旦の午前7時からお勤めしています。今年は、例年になく穏やかな気候の元旦でした。



1/1



3/9

第25代専如門主伝灯奉告法要団体参拝

宗祖・親鸞聖人があきらかにされた「浄土真宗のみ教え」が第25代専如門主に伝えられたことを奉告する法要です。

順光寺が所属する松江組(まつえそ)は、3月9日に本山(京都・西本願寺)へ団体参拝を行いました。

春彼岸・永代経法要

春のお彼岸の中日にお勤めします。

亡き人をご縁とし、故人を追慕し、報恩の営みをするとともに、聞法のご縁をいただく法要です。

今年も副住職が法話をさせていただきました。若坊守による絵本の朗読も恒例となりました。



3/20



4/10

お花見会

順光寺仏教婦人会主催による毎年恒例のお花見会。総代会・壮年会からもご参加いただきました。

今年は、奥出雲町・亀嵩温泉玉峰山荘に行きました。

門信徒の集い

順光寺の活動や運営について、門信徒の皆さまと意見交換を行う年に1度の会合です。

今年度は、本堂の改修事業について、ご出席の皆さまからご意見をいただきました。また、本堂の屋根の状況をご覧いただきました(本紙2ページ参照)。



6/10

8/5



盆前清掃

毎年8月の第1土曜日に開催。境内の草取り、仏具磨き、本堂の清掃を行います。

ご参加いただける方が毎年増えており、ありがたいことです。

清掃の後は、本堂でお勤め。その後、婦人会の皆さまの手作り朝ご飯をおいしくいただきました。

10/29

報恩講

浄土真宗の寺院において年間を通して最も大切な法要。浄土真宗の宗祖・親鸞聖人のご恩徳に感謝し、私の「生死いづべき道」についてお聴かせいただく法要です。

今年のご講師は、備後教区御調西組梅林寺(広島県三原市)ご住職・高橋格昭師。今年も多数のお参りをいただきました。



「ご参拝ありがとうございました」

円正寺(広島県庄原市) 仏教婦人会の皆さん 7月9日

庄原市の高野町にあり、枝垂れ桜が有名なお寺。仏教婦人会の研修旅行で順光寺にお参りくださいました。11月10日には、順光寺から円正寺様に参拝いたしました。

「キッズスペースゆうあい」の皆さん 11月4日

順光寺の川向いにある「放課後等デイサービス・キッズスペースゆうあい」の子どもたちがお参りしてくれました。副住職の法話の後、一緒に「仏の子のちかい」を唱和しました。



「キッズスペースゆうあい」の子どもたちに、副住職が法話。

順光寺トピックス



順光寺のパンフレットをリニューアル

以前から、順光寺の情報を一覧できる冊子が欲しいというお声をいただいていた。そこでこの度、順光寺の概要・沿革・アクセスマップなどをまとめたA4三つ折りサイズのパンフレットを新調しました。

このパンフレットで、門信徒の皆さんに順光寺のことをもっとよく知っていただければと思います。

本堂に置いてありますので、ご自由にお持ち帰りください。

また、順光寺の公式サイトから、PDFファイルをダウンロードいただけます。

今後も、より良いものにしていきたいと思っておりますので、内容にお気付きの点がありましたらお知らせください。

副住職が本山のラジオ放送に出演

全国のAMラジオ局で放送されている、本山のラジオ放送「みほとけとともに～西本願寺の時間」に、副住職が出演しました。

9月1日、本山の宗務所の中にあるスタジオで、法話とインタビューの収録を行いました。放送内容の中心は、副住職の活動テーマである「お寺発のまちづくり」。「松江お坊さんカフェ」や「松江水燈路」など、地域での取り組みについて、お話ししました。

番組は、全国のラジオ局で3回放送されました(山陰放送では、10月15日・22日・29日の朝6時45分から放送)。

本山(西本願寺)のサイトに音声公開されています。ぜひお聞きください。



パーソナリティの徂徠(そらい)さんとスタジオで記念撮影。

徂徠さんは奈良県香芝市西光寺の坊守さんで、ジャズボーカリストとして活躍されています。

ご門徒さんの作品

俳句 行時貞子さん

書 日野きよ子さん

小雨ふる 命ふるわせ
鈴虫鳴く
り時貞子

小雨ふる 命ふるわせ
鈴虫鳴く

地元の公民館で俳句を詠まれている行時さん。前号に続き、俳句を投稿いただきました。

秋雨の中、精一杯生き抜こうとする鈴虫。

小さな「いのち」への優しい眼差しが感じられます。



順光寺の仏間に大きな「寂」という字が掲げられているのをご存知でしょうか？

この作品は、ご門徒の日野さんの書で、「和敬静寂」という茶道の心得を表す四字熟語の一字です。お寺の雰囲気にも合う言葉でもあることから、順光寺にご寄贈いただきました。

編集後記

寺報も数えて3号を発行することになりました。これもひとえに皆様のおかげです。

ご存知の様に、お寺の運営は全て皆さんの浄財で賄われています。人の命も建物も永遠ではありません。そして、時と共にどこかしら傷んでいくもの。少しでも寿命を

延ばすために治療をし修復していく必要があります。

本堂の修復計画が立ち上がりました。私たちがいなくなった後でも順光寺が永らえていくよう、できるだけ協力をしたいものです。

寺報編集委員会委員 大石健夫

浄土真宗本願寺派順光寺寺報
順光寺だより 第3号

2017 (平成29) 年12月31日発行

編集 順光寺寺報編集委員会

発行 浄土真宗本願寺派

豊饒山 順光寺

印刷 株式会社谷口印刷



浄土真宗
本願寺派

順光寺

揮毫：細田青秀氏 (順光寺ご門徒)

〒690-0881 松江市石橋町 44

TEL・FAX 0852-23-3718

E-mail info@junkouji.net

公式サイト <https://junkouji.net>

junkouji.matsue

@junkouji

junkouji_matsue

順光寺

検索

フォト法話

Photo by Nagatani Jungo
2017年10月、宍道湖湖畔にて撮影

子を思う親ごころ

法話・写真 順光寺副住職 籠 純吾

10月のある晴れた日、宍道湖の夕陽を撮影に行きました。シャッターを切っていると、お子さん連れの女性の姿がファインダー（カメラの覗き窓）に入って来ました。湖の岸辺で娘さんを抱きかかえ、慈しむように笑顔を向けていました。夕陽に照らされる2人の姿はとても印象的でした。

「西方浄土」。古くから人々は、西に沈む夕陽を眺めながら、遠くにあるお浄土を思い浮かべました。

お浄土は、いのち終われば必ず帰って行く場所。

「必ずあなたを浄土に生まれさせる」

阿弥陀さまは、この私に帰るところを知らせてくださいます。煩惱の闇の中で迷い苦し

む私の心を見通し心配する親ごころ。子を抱く親の思いと同じように、阿弥陀さまのお慈悲の光は、お浄土からいつもこの私を優しく照らし、包み込んでくださっています。

本願力にあひぬれば

むなしくすぐるひとぞなき

功德の宝海みちみちて

煩惱^{じよくすい}の濁水へだてなし（高僧和讃）

「南無阿弥陀仏」と手を合わせお念仏をいただくことは、阿弥陀さまのお慈悲に抱かれていることを素直に喜んでいく姿。

この私が、阿弥陀さまの光に抱かれていることに気づくとき、これからの人生を力強く歩いていくことができます。

宍道湖のほとりで、母親の腕に抱かれた女の子は、安心しきった表情で微笑みを浮かべていました。